

s t u d y

G

e

2025年度
(令和7年度)

履修の手引き

人間環境大学

看護学部 看護学科

2 0 2 5

**2025 年度 人間環境大学 大府キャンパス
事務取扱時間・施設利用時間・校舎退出時刻**

大府キャンパス事務室窓口事務取扱時間

授業日・定期試験期間 (集中講義・追試験・再試験期間を除く)	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:30 日・祝 休 業
上記以外 (校舎閉鎖期間・学生登校禁止日を除く)	月～金 9:00～17:00 土 休 業 日・祝 休 業

学内施設利用時間

施設等	期間 授業日・定期試験期間 (集中講義・追試験・再試験期間を除く)	左記以外 (校舎閉鎖期間・学生登校禁止日を除く)
図書館	月～金 9:00～19:30 土 9:00～17:00 * 開館日時は図書館の HP で確認してください *	月～金 9:00～17:00 土 9:00～14:00
講義室・演習室 (利用手続要)	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00 * 事務休業日および日・祝は利用不可 *	月～金 9:00～17:00 土 9:00～14:00
売 店	月～金 11:45～13:15 土日祝 休 業	休 業
校舎退出時刻	月～金 20:00 土 17:00 * この時間までにかばん等の荷物を持って校舎を退出し、帰宅してください	月～金 17:00 土 14:00
校舎閉鎖期間	校舎閉鎖期間(夏期・冬期)、入学試験実施日 等 * 大学構内に入ることはできません *	

- 授業日、各試験期間、事務休業日、校舎閉鎖期間・学生登校禁止日は、学年暦・年間行事予定表で確認してください。
- 祝日が授業日の場合の取扱時間・利用時間は、当該曜日に準じます。
- 学年暦の変更など利用時間の変更が発生した時は、その都度掲示で連絡します。

CONTENTS

学年暦	4
年間行事予定表	5

第Ⅰ部 教育課程の履修について

1. 人間環境大学建学の精神	9
2. 看護学部教育理念	9
3. 看護学部の教育目的・教育目標	10
4. 学年度と授業について	13
5. 単位制について	16
6. 学修計画と履修登録について	18
7. コース・選択教科プログラムの履修方法について	22
8. 臨地実習について	26
9. 試験について	28
10. 成績評価について	30

第Ⅱ部 カリキュラム

1. 2025 年度看護学部開講科目一覧	33
2. 看護学部履修モデル	37

2025 年度 看護学部学年暦

2025 年 4 月 1 日(火)～9 月 15 日(月) 前期

9 月 16 日(火)～2026 年 3 月 31 日(火)..... 後期

2025 年	4 月 2 日(水)	入学式
	4 月 2 日(水)～4 日(金)	オリエンテーション期間（健康診断含む）
	4 月 7 日(月)	前期授業開始
	7 月 23 日(水)	前期授業終了
	7 月 24 日(木)～30 日(水)	前期定期試験期間（予備日：7 月 31 日(木)）
	8 月 9 日(土)	夏季休業開始
	8 月 29 日(金)	前期成績発表・後期オリエンテーション
	9 月 15 日(月)	夏季休業終了
	9 月 19 日(金)	後期授業開始
	10 月 18 日(土)	大学祭
	12 月 16 日(火)～18 日(木)	後期 4 年次科目試験期間
	12 月 23 日(火)	後期年内授業終了
	12 月 24 日(水)	冬季休業開始
2026 年	1 月 4 日(日)	冬季休業終了
	1 月 7 日(水)	後期年明け授業開始
	1 月 24 日(土)	後期授業終了
	1 月 26 日(月)～30 日(金)	後期定期試験期間（予備日：1 月 31 日(土)）
	3 月 2 日(月)	後期成績発表
	3 月 14 日(土) * 予定	学位授与式
	3 月 19 日(木)	後期実習科目成績発表・オリエンテーション
	3 月 20 日(金)	春季休業開始
	3 月 31 日(火)	学年終・後期終了

2025年度(令和7年度)
人間環境大学看護学部 年間行事予定・授業日程表

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定	
								日付	内容
4	-	-	1	2	3	4	5	2(水)	入学式・新入生オリエンテーション
	6	7 ^①	8 ^①	9 ^①	10 ^①	11 ^①	12 ^①	3(木)	健康診断
	13	14 ^②	15 ^②	16 ^②	17 ^②	18 ^②	19 ^②	4(金)	新入生オリエンテーション
	20	21 ^③	22 ^③	23 ^③	24 ^③	25 ^③	26 ^③	7(月)	前期授業開始
	27	28 ^④	29 ^④	30 ^④	-	-	-	7(月)-11(金)	履修登録期間
5	-	-	-	-	1 ^④	2 ^④	3	14(月)	履修登録確認 (Webポータル)
	4	5	6	7 ^⑤	8 ^⑤	9 ^⑤	10 ^④	14(月)-18(金)	履修登録修正期間
	11	12 ^⑤	13 ^⑤	14 ^⑥	15 ^⑥	16 ^⑥	17 ^⑤	21(月)	履修登録修正内容確認 (Webポータル)
	18	19 ^⑥	20 ^⑥	21 ^⑦	22 ^⑦	23 ^⑦	24 ^⑥	29(火)	授業日 (昭和の日)
	25	26 ^⑦	27 ^⑦	28 ^⑧	29 ^⑧	30 ^⑧	31 ^⑦	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 基礎看護学実習Ⅱ(2年生) 5/22、6/5、6/19 </div>	
6	1	2 ^⑧	3 ^⑧	4 ^⑨	5 ^⑨	6 ^⑨	7 ^⑧		
	8	9 ^⑨	10 ^⑨	11 ^⑩	12 ^⑩	13 ^⑩	14 ^⑨	統合実習(4年生)	
	15	16 ^⑩	17 ^⑩	18 ^⑪	19 ^⑪	20 ^⑪	21 ^⑩		
	22	23 ^⑪	24 ^⑪	25 ^⑫	26 ^⑫	27 ^⑫	28 ^⑪		
	29	30 ^⑫	-	-	-	-	-		
7	-	-	1 ^⑫	2 ^⑬	3 ^⑬	4 ^⑬	5 ^⑫	9(水)	3年生 実習オリエンテーション
	6	7 ^⑬	8 ^⑬	9 ^⑭	10 ^⑭	11 ^⑭	12 ^⑬	21(月)	授業日 (海の日)
	13	14 ^⑭	15 ^⑭	16 ^⑮	17 ^⑮	18 ^⑮	19 ^⑭	23(水)	土曜日講義日 (通常の水曜授業なし)
	20	21 ^⑮	22 ^⑮	23 ^⑮	24 ^⑯	25 ^⑯	26 ^⑯	23(水)	前期授業終了
	27	28 ^⑯	29 ^⑯	30 ^⑯	31	-	-	24(木)-30(水)	前期定期試験期間 (試験予備日7/31)
8	-	-	-	-	-	1	2	5(火)	追試験願提出期限
	3	4 ^補	5 ^補	6 ^補	7 ^補	8 ^補	9	7(木)-8(金),18(月)	前期再試験該当者発表 *正午頃予定
	10	11	12	13	14	15	16	10(日)-17(日)	再試験のための補講期間
	17	18 ^補	19 ^{追再}	20 ^{追再}	21 ^{追再}	22 ^{追再}	23 ^{追再}	11(月)	山の日
	24	25	26	27	28	29	30	18(月)	再試験願提出期限
	31	-	-	-	-	-	-	19(火)-22(金)	前期追・再試験期間
9	-	1	2	3	4	5	6	27(水)-28(木)	3年生 領域別実習オリエンテーション
	7	8	9	10	11	12	13	29(金)	前期成績発表/後期オリエンテーション
	14	15	16	17	18	19 ^①	20 ^①	19(金)	後期授業開始
	21	22 ^①	23 ^①	24 ^①	25 ^①	26 ^②	27 ^②	19(金)-25(木)	履修登録修正期間
	28 ^{入試}	29 ^②	30 ^②	-	-	-	-	23(火)	授業日 (秋分の日)
								26(金)	履修登録修正内容確認 (Webポータル)

○ 授業日〔①～⑮〕
 ⑯ 試験日〔⑯〕
 1 (斜体数字)…日曜・祝日 ※祝日であっても授業が開講される場合があります

 集中講義
 事務窓口休業 ※原則キャンパスも閉館となっています。

2025年度(令和7年度)
人間環境大学看護学部 年間行事予定・授業日程表

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定	
								日付	内容
10	-	-	-	1 ^②	2 ^②	3 ^③	4 ^{入試}	4(土)	入試日【学生登校禁止】
	5	6 ^③	7 ^③	8 ^③	9 ^③	10 ^④	11 ^③	13(月)	授業日(スポーツの日)
	12	13	14 ^④	15 ^④	16 ^④	17	18	17(金)	休講日(大学祭準備)
	19	20 ^⑤	21 ^⑤	22 ^⑤	23 ^⑤	24 ^⑤	25 ^④	18(土)	大学祭(予定)
	26	27 ^⑥	28 ^⑥	29 ^⑥	30 ^⑥	31 ^⑥	-	20(月)~22(水)	履修取消申請期間(後期科目)
								【4年次生後期授業期間】 10/20~12/13 12/16~12/18(試験)	
11	-	-	-	-	-	-	1 ^⑤	3(月)	授業日(文化の日)
	2	3 ^⑦	4 ^⑦	5 ^⑦	6 ^⑦	7 ^⑦	8 ^{入試}	8(土)	入試日【学生登校禁止】
	9	10 ^⑧	11 ^⑧	12 ^⑧	13 ^⑧	14 ^⑧	15 ^⑥		
	16	17 ^⑨	18 ^⑨	19 ^⑨	20 ^⑨	21 ^⑨	22 ^⑦		
	23	24 ^⑩	25 ^⑩	26 ^⑩	27 ^⑩	28 ^⑩	29 ^⑧	23(日)	勤労感謝の日
	30	-	-	-	-	-	-	24(月)	授業日(振替休日)
12	-	1 ^⑪	2 ^⑪	3 ^⑪	4 ^⑪	5 ^⑪	6 ^⑨	16(火)~18(木)	4年次科目、1・2年次後期前半終了科目試験期間 土曜日講義日・通常補講日(通常の火水木授業なし)
	7 ^{入試}	8 ^⑫	9 ^⑫	10 ^⑫	11 ^⑫	12 ^⑫	13 ^⑩	24(水)	冬季休業開始(～1/3)
	14	15 ^⑬	16 ^{土⑪}	17 ^{土⑫}	18 ^補	19 ^⑬	20 ^⑬	28(日)~1/4(日)	冬季校舎閉鎖【学生登校禁止】
	21	22 ^⑭	23 ^⑬	24	25	26	27		
	28	29	30	31	-	-	-		
1	-	-	-	-	1	2	3	12/28(日)~4(日)	冬季校舎閉鎖【学生登校禁止】
	4	5	6	7 ^⑬	8 ^⑬	9 ^⑭	10 ^⑭	1(木)	元日
	11	12	13 ^⑭	14 ^⑭	15 ^⑭	16	17	7(水)	後期年明授業開始
	18	19 ^⑮	20 ^⑮	21 ^⑮	22 ^⑮	23 ^⑮	24 ^⑮	12(月)	成人の日
	25 ^{入試}	26 ^⑮	27 ^⑮	28 ^⑮	29 ^⑮	30 ^⑮	31 ^⑮	16(金)	休講日
2	1	2 ^{入試}	3	4	5 ^補	6 ^{入試}	7 ^補	17(土)~18(日)	大学入学共通テスト【学生登校禁止】
	8	9 ^補	10 ^{基礎看護学実習Ⅱ}	11 ^⑮	12	13	14	24(土)	後期授業終了
	15	16	17	18	19	20	21	26(月)~30(金)	後期定期試験期間(試験予備日1/31)
	22	23 ^{入試}	24 ^{追再}	25 ^{追再}	26 ^{追再}	27	28		
3	1	2	3	4	5	6	7	4(水)	追試験願提出期限
	8	9	10 ^{入試}	11	12	13	14	後期再試験該当者発表 *正午頃予定	
	15	16	17	18	19	20	21	2(月),6(金)	入試日【学生登校禁止】
	22	23	24 ^{入試}	25	26	27	28	5(木),7(土),9(月)	再試験のための補講期間
	29	30	31	-	-	-	-	9(月)	再試験願提出期限
	1	2	3	4	5	6	7	11(水)	建国記念の日
	8	9	10 ^{入試}	11	12	13	14	23(月)	入試日【学生登校禁止】(天皇誕生日)
	15	16	17	18	19	20	21	24(火)~26(木)	後期追・再試験期間
	22	23	24 ^{入試}	25	26	27	28		
	29	30	31	-	-	-	-		
	1	2	3	4	5	6	7	2(月)	卒業確定者発表
	8	9	10 ^{入試}	11	12	13	14	後期成績発表(実習科目を除く)	
	15	16	17	18	19	20	21	10(火)	入試日【学生登校禁止】
	22	23	24 ^{入試}	25	26	27	28	14(土)	学位授与式
	29	30	31	-	-	-	-	19(木)	実習科目成績発表/在学生オリエンテーション
								20(金)	春分の日・春季休業開始
								24(火)	入試日【学生登校禁止】
								31(火)	学年終・後期終了

○ 授業日〔①～⑮〕
 ⑮ 試験日〔⑮〕
 1(斜体数字)…日曜・祝日 ※祝日であっても授業が開講される場合があります

集中講義
 事務窓口休業 ※原則キャンパスも閉館となっています。

第Ⅰ部

教育課程の履修について

1. 人間環境大学建学の精神

建学の精神

人間環境学の探求

教育理念

人間環境大学は、建学の精神に則り、人間環境に関する該博な知識と深い理解力を備え、すぐれた見識をもって人類と国家社会に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

2. 看護学部 of 教育理念

看護を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医学・医療技術の進歩による高度専門化、社会変化と生活の多様化など大きく変化し、看護の役割も拡大しています。これらを踏まえて、看護教育もより高度な教育が求められています。

人間環境大学看護学部の教育理念は、大学の教育理念である人間環境学の探求に基づき〈人間〉と〈環境〉、および人間と環境の〈関係〉の深い理解に基づいて、人びとの多様な健康ニーズに応えるため科学的根拠に基づいた質の高い看護実践を創造できる自立した人材の育成することです。これらにより、人びとが健康に生きることを支援し、同時に地域社会における保健・医療・福祉の連携と発展に貢献します。

以上の看護学部の理念を図で示すと次の構造図になります(図 人間環境大学看護学部 教育理念と教育目的・教育目標との関連)。

この構造図に示す教育理念は、目的とする「質の高い看護実践を創造できる自立した人材の育成」および「常に学び続ける人材の育成」による直接的・間接的な看護活動の成果を示すものであり、それらの目的のため4つの教育目標を設定し、その教育目標から求められる6つの能力を抽出しています。この能力を育てるカリキュラムが構築されており、これらの科目を学修することで、教育理念に沿った人材が育成されます。

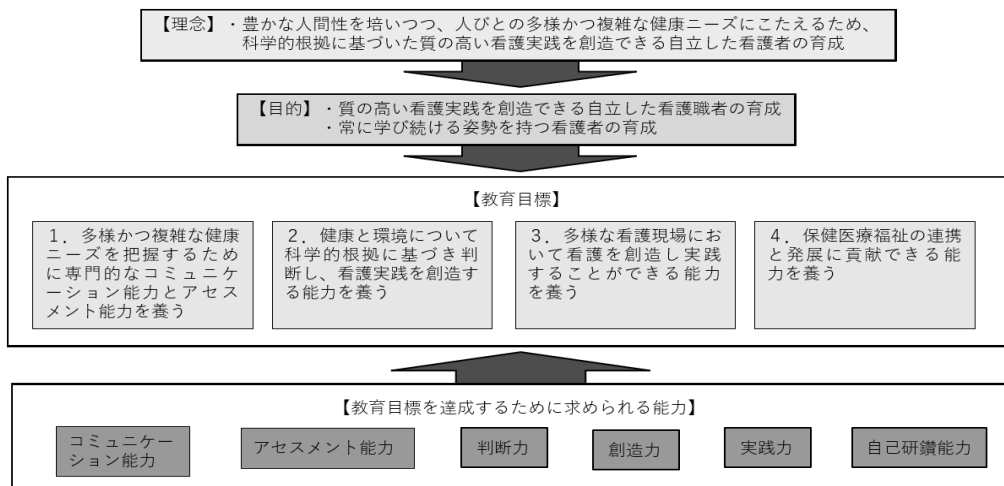


図 人間環境大学看護学部 教育理念と教育目的・教育目標との関連

3. 看護学部 of 教育目的・教育目標

1 教育目的

建学の精神である人間環境学の探求に基づく「〈人間〉と〈環境〉、および人間と環境との〈関係〉の深い理解に基づいた質の高い看護実践を創造できる自立した人材の育成」を目指し、以下の2点を教育目的とする。

- (1) 豊かな人間性を培いつつ、人びとの多様かつ複雑な健康ニーズに応えるため、科学的根拠に基づいた質の高い看護実践を創造できる自立した看護職者を育成します。
- (2) 常に学び続ける姿勢を持つ看護の実践者、保健師、養護教諭、助産師、教育者および研究者を育成します。

2 教育目標

- (1) 人びとの多様かつ複雑な健康ニーズを把握するために専門的なコミュニケーション能力とヘルスアセスメント能力を備えた人材を育成します。
- (2) 人びとの多様かつ複雑な健康ニーズに対応するために、健康と環境について科学的根拠に基づき判断し、看護実践を創造することができる能力を備えた人材を育成します。
- (3) 多様な看護実践の場において、看護を創造し実践することができる能力を備えた人材を育成します。
- (4) 人びとの多様かつ複雑な健康ニーズに対し、保健医療福祉の連携と発展に貢献できる能力を備えた人材を育成します。

3 看護学部の3つの方針

〈学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〉

人間環境学の探求に基づく〈人間〉と〈環境〉、および人間と環境との〈関係〉の深い理解の上に、豊かな人間性を培い、人びとの多様な健康ニーズに応えるため科学的根拠に基づいた質の高い看護実践を創造できる自立した人材を育成することを看護学部の教育理念としている。そのために教育目標に掲げた「専門的なコミュニケーション能力」「アセスメント能力」「判断力」「創造力」「実践力」「自己研鑽能力」を学修成果として備えた者に卒業を認定し、学位を授与する。

具体的には、定められた128単位以上を修得し、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

- 1) 看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力とヘルスアセスメント能力
- 2) 人びとの健康と環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力
- 3) 多様な看護実践の場において、看護を創造し実践することができる能力
- 4) 保健医療福祉の連携においてリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力
- 5) 看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につけ研鑽し続ける能力

〈教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）〉

看護学部のカリキュラムは、前述した教育理念、教育目的・教育目標に則り、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）達成のために、以下のように編成する。

- 1) 基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3科目群からカリキュラムを編成する
- 2) 基礎科目では、深い人間理解、豊かな人間性を培うための科目を配置する
- 3) 人びとの多様かつ複雑な健康ニーズの実践的な把握に必要な専門的コミュニケーション能力とヘルスアセスメント能力を実践的に培うために、模擬患者・仮想空間などのシミュレーションを取り入れた科目を配当する
- 4) 科学的根拠に基づいた質の高い看護実践の修得を目指すために、専門基礎科目の知識と専門科目を関連付けて、「知る」「身につける」「使ってみる」の3層を分離させることなく、相互に融合させ、反復しつつ進行する螺旋状の学習形態を配置する
- 5) 多様な看護活動の場において看護を創造し実践する応用的な能力を培うために、4つの選択強化プログラム（地域・在宅療養者と家族の支援、こどもと家族の看護、がん看護、認知症高齢者と家族の看護）を配当する
- 6) グローバルな視点で看護を実践するために、外国語や国際看護に関する科目を配当する
- 7) 保健医療福祉の連携と発展に貢献する能力を養うために、多職種と連携する能力、その連携のリーダーシップを発揮するための基礎的能力を養う科目を配当する
- 8) 全ての科目において、国家資格に必要な専門的知識を1年次から段階的かつ継続的に学修できるように設定する

看護学部の特徴として、看護師基本コースのほかに、4つの選択強化プログラム（地域・在宅療養者と家族の看護、こどもと家族の看護、がん看護、認知症高齢者と家族の看護）、保健師コース（選択）、養護教諭コースを配置する。また、人びとの多様な健康ニーズに応えるため科学的根拠に基づいた質の高い看護実践をするために必要な基礎的能力の強化のために、人体の構造、機能、病態生理、疾病、看護をバラバラで教授するのではなく、リンクさせて教授する「看護のための形態機能と疾病」などの科目を設定し、螺旋状の学習形態を意識して配置する。

〈入学者受入の方針（アドミッションポリシー）〉

看護学部は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に則り、人間への深い理解を有し、質の高い看護実践を創造し自立できる看護職者の育成を目指し、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識、意欲を備えた人を求める。

- 1) 人びとの多様な価値観を尊重し、思いやることができる人
- 2) 他者の考えを理解し、また自己の考えを適切に伝えるためのコミュニケーション能力の基礎的内容（聞く・話す・読む・書く）を身につけている人
- 3) 看護を科学的に実践するための基盤となる自然科学の知識、論理的な思考の基礎を持っている人
- 4) 人びとの健康を支援する看護実践に熱意を持ち、継続して主体的に学修に取り組むことができる人

このような学生を選抜するために、多様な入試方法において総合的に判定する。

〈学修成果の評価（アセスメントプラン）〉

看護学部内部質保証の一環として、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つに基づいて、機関レベル（大学）、教育課程レベル（学部・研究科等）、科目レベル（授業・科目）の3段階で学修成果等を多面的かつ総合的に測定・評価する。

表 看護学部のアセスメントプラン

	学位授与方針（DP）	入学前・直後	在学中	卒業時
機 関 レ ベル	人間環境学の探求に基づく〈人間〉と〈環境〉、および人間と環境との〈関係〉の深い理解の上に、豊かな人間性を培い、人びとの多様な健康ニーズに応えるため科学的根拠に基づいた質の高い看護実践を創造できる能力を備えた者に学位を授与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験 ・出願書類の記載事項 ・入学前課題 ・入学者の動向 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の実態 ・休学率 ・退学率 ・転学率 ・学生生活アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学位授与数 ・国家試験合格率 ・就職率 ・進学率 ・卒業生就業状況 ・学生満足度調査
教 育 課 程 レ ベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力とヘルスアセスメント能力 2. 人びとの健康と環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力 3. 多様な看護実践の場において、看護を創造し実践することができる能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験 ・出願書類の記載事項 ・入学前課題 ・入学時確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・単位取得状況 ・休学率 ・退学率 ・学修履歴 ・授業評価アンケート ・シラバスアンケート ・学修状況アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定 ・国家試験合格率 ・就職率 ・進学率 ・ポートフォリオ ・看護技術経験録 ・卒業時アンケート ・就職先アンケート
科 目 レ ベル	<ol style="list-style-type: none"> 4. 保健医療福祉の連携においてリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力 5. 看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につけ研鑽し続ける能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験 ・出願書類の記載事項 ・入学前課題 ・入学時確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位認定 ・定期試験 ・授業評価アンケート ・シラバスアンケート 	

4. 学年度と授業について

学年度とは

学年度は前期と後期の2期に分かれています。前期は4月1日に始まって9月15日に終わり、後期は9月16日に始まって3月31日に終わります。

なお、当該年度の年間行事予定表および学年暦は毎年作成され、『履修の手引き』のはじめに掲載しています。

授業時間割について

卒業所要単位の修得に必要な授業科目を網羅した授業時間割が、毎学年度はじめに編成され告知されます。

授業は前期・後期を通じて月曜日から土曜日の6日間にわたって、7時限制で行われます。授業時間割の中から、各自の年次、選択コースや選択強化プログラムに応じて、授業科目を履修することになります。土曜日および第6、7時限は、原則として大学院の学生用の授業時間です。

授業時間は次の通りです。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
9:10～10:40	10:50～12:20	13:10～14:40	14:50～16:20	16:30～18:00
第6時限	第7時限	* 第6時限と第7時限は、主に大学院の授業時間		
18:10～19:40	19:50～21:20			

授業期間の種類

- (1) 「通年授業」…1年間を通じて開講される授業
- (2) 「半期授業」…前期または後期に開講される授業
- (3) 「隔週授業」…1週おきに開講される授業
- (4) 「集中授業」…夏季休業期間（8月～9月）や冬季休業期間（12月）、土曜日またはそれ以外の期間を利用してまとめて開講される授業
* 集中講義の日程は毎年の「年間行事予定表」および「時間割」で確認してください。
- (5) 「隔年授業」…1年おきに開講される授業

授業に関する留意事項

1. いずれの授業も授業時数の5分の4以上の出席が必要です。欠席回数が5分の1を超える者（授業時数が8回の場合は、欠席時数が2を超える者）は定期試験受験資格を失うことになります。原則10分以上の遅刻は欠席とみなします。
なお、実習科目は全ての出席を原則とし、実習期間の5分の4以上の出席を満たしていない者は単位認定できません。遅刻の取扱いについては各実習要項に従ってください。

2. 「公欠」・「忌引」により、やむを得ず授業を欠席する場合は、原則として欠席の理由および期間が記載された書類および「欠席届（公欠願）」又は「忌引願（届）」をすみやかに事務室（教務課）まで提出してください。「公欠」・「忌引」以外での欠席は理由のいかんにかかわらず欠席となります。この場合特に授業の欠席を届ける必要はありません。
3. 電話による問い合わせ、学生・教員呼び出しには応じられません。
4. 「暴風警報、暴風雪警報または特別警報発令時」や「交通機関のストライキ」等の場合の授業の取り扱いについては「学生便覧」を参照してください。
5. 上記規定に記載の市町村以外の居住地に暴風警報、暴風雪警報または特別警報が発令中の場合は警報解除後なるべく早く出校してください。
6. 公共交通機関の障害で遅刻や受講できなかった場合は原則として延着証明を持参してください。

公欠について

次に該当する事由により授業を欠席し、必要書類を提出した場合はこれを公欠として取り扱います。詳しくは学生便覧の「人間環境大学授業に関する規程」を参照してください。

事由	提出書類	公欠期間
養護実習、関係機関が行う事前オリエンテーションに参加する場合	・ 欠席届(公欠願) ・ 受入先の正式書類	実習に要する期間
「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」にもとづき裁判員の任務を果たす場合	・ 欠席届(公欠願) ・ 名簿記載通知	裁判所等の公の機関から指定された期間
「学校保健安全法施行規則」第 18 条に定められた感染症による社会的影響を考慮して、大学が出校停止を命じた場合	・ 欠席届(公欠願) ・ 医師による治癒証明書または診断書	大学が出校停止を命じた期間
天災・事故等による公共交通機関の運休または遅延等によって授業を欠席した場合	・ 欠席届(公欠願) ・ 遅延証明書	公共交通機関の運行開始(遅延運行を含む)から 2 時間
「授業に関する規程」の第 3 条に定める警報が居住地で発令され、出校できずに授業を欠席した場合	・ 欠席届(公欠願)	警報解除から 2 時間
忌引きの場合	・ 忌引願(届) ・ 会葬礼状等	(欄外参照)
その他、教授会において特段の取り扱いが必要であると認められた場合	・ 欠席届(公欠願) ・ その他本学が求める書類	本学が認めた期間

* 公欠扱いを受けようとする者は、「欠席届（公欠願）」または「忌引願（届）」および期間が分かる書類を添えて事務室（教務課）に提出すること。

* 公欠が認められた場合、授業担当教員から補講もしくは課題を与えられることにより、公欠を許可された期間を出席扱いとすることができる。

* 忌引きの期間は以下の通り（「忌引願（届）」は授業の有無に関係なく提出してください）

配偶者 夫・妻…10 日以内 **血族** 1 親等…7 日以内、2 親等…3 日以内、3 親等…1 日以内
姻族 1 親等…3 日以内、2 親等…3 親等…1 日以内

* 集中講義については、単位認定に必要な授業時間数の関係で公欠扱いとならない場合があるので注意すること。

休講・補講について

科目担当教員が学会出張や病気などやむを得ない理由で授業を休講にすることがあります。このような場合には、教員から連絡があり次第、掲示により連絡するので注意してください。

なお、休講となった授業については、これを補うための補講を行います。

- * 休講の掲示がなく、授業開始を 30 分経過しても教員が出講しないときは、必ず事務室（教務課）に連絡して指示を受けてください。
- * 休講などで授業回数が不足するときには、補講を実施します。日程はあらかじめ掲示発表されるので、履修者は通常の授業と同様に受講してください。
- * 補講は、補講期間や授業開講曜日の 5 時限終了後（第 6 限：18：10－19：40）、土曜日等を利用して実施されます。また、受講生と相談の上これ以外の曜日・時間帯になる場合があります。
- * 休講および補講の連絡は、本学 WEB ポータルサイトによっても行いますが、更新時間の関係上、すべての情報がタイムリーに掲載されるわけではありません。最終的には、学内掲示板で確認してください。

遠隔授業について

感染症対策等のため対面で授業を行うことが出来ない場合、授業を“Microsoft Teams”（以降 MS Teams）を利用して遠隔（オンライン）で行う場合があります。遠隔授業には、「リアルタイム（同時双方向型）授業」と「オンデマンド（録画配信型）授業」の 2 種類があり、それぞれ以下の通り授業を行います。

※遠隔授業を実施する科目は、事前に「チーム」を設定し、チーム内で各回の授業毎に「チャンネル」を設定します。

<リアルタイム授業（同時双方向型）>

1. 時間割通りの時間に配信されます。“MS Teams”の各チーム※（科目）のチャンネル※（授業）より出席してください。
2. 通信状況等により、一時的に授業に参加できなかった場合を想定し、リアルタイム型の授業も録画を行う場合があります。録画は教員が行うので、学生側では操作しないでください。
3. 録画された授業は、“MS Teams”上で、原則 3 日間程度視聴することが可能です。
4. 出席確認は、出欠フォームやコミュニケーションペーパー等の提出により行います。科目担当者の指示に従ってください。

<オンデマンド授業（録画配信型）>

1. 各チーム※（科目）のチャンネル※（授業）内に授業動画がアップされます。視聴してください。
2. 出席確認方法は、科目担当者の指示に従ってください。

* MS Teams の使用方法については、別途マニュアルを配布してガイダンスを行います。

* インターネットの通信状況等により、自宅から遠隔（オンライン）授業へ参加することが困難な場合は、学内の PC 教室（講義室 1）を利用し、受講することが可能です。

* 演習科目等対面での指導が必要な科目は、対面授業と組み合わせて行う場合があります。

5. 単位制について

単位制

大学における教育課程は、「単位制」を採用しています。大学設置基準では、「1単位の授業料目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」と定められています。この45時間には、授業での学習時間と授業外の自習時間の両方が含まれており、本学教育課程では次のように定められています。

◆1単位の学習時間

授業の形態	授業での学習時間	授業外の自習時間	合計
講義	15～30 時間	15～30 時間	45 時間
演習	15～30 時間	15～30 時間	
実験・実習・実技	30～45 時間	0～15 時間	

本学では、1学年を前期と後期に分け、各学期の授業期間を15週間と定めています。

また、90分の授業を1コマ＝2時間と計算しています。従って、それぞれの授業形態について受講生の1単位あたりの1週間の学習時間は次のようになります。

◆1単位あたりの1週間の学習時間（1学期15週で完結する場合）

授業の形態	授業での学習時間	授業外の自習時間	合計
講義	1～2 時間(0.5～1 コマ)	1～2 時間(0.5～1 コマ)	3 時間 (1.5 コマ)
演習	1～2 時間(0.5～1 コマ)	1～2 時間(0.5～1 コマ)	
実験・実習・実技	2～3 時間(1～1.5 コマ)	0～1 時間(0～0.5 コマ)	

（学習時間の計算例）

たとえば、前期に20単位（講義16単位、実験・実習・実技4単位）を履修登録した場合、前期中に学修すべき時間は、

	講義(720時間)		実験・実習・実技(180時間)	
授業での学習時間	240時間(16単位×15時間)	+	120時間(4単位×30時間)	= 360時間
授業外での自習時間	480時間(16単位×30時間)	+	60時間(4単位×15時間)	= 540時間

となります。この場合、授業外の自習時間として540時間の学修が必要となりますが、前期が日曜・祝祭日も含めて18週間にわたり126日（7日×18週）あると考えると、1日あたりに学修すべき平均時間は、 $540時間 \div 126日 \div 4.3時間$ となります。

CAP制

本学では、上記の単位制による1単位を修得するための学習時間をふまえ、1年間に履修登録できる上限単位を「45単位」（一部例外※あり）と定めています。

これは、殆どの大学で設けられており、「CAP制」と呼ばれています。むやみに科目数だけでなく登録しても勉強が追いつかずに単位が取得できないようなことが起こらないように、そして個々の科目の消化不良を防ぐためです。計画的な学習活動を行うために、本学の教育課程、卒業

所要単位を、『履修の手引き』および入学年度の『学生便覧』の「人間環境大学看護学部看護学教育課程および履修方法に関する規程」の「別表」で確認してください。

CAP 制の例外

CAP 制の例外として、養護教諭一種免許状修得のための「資格科目」および専門科目（公衆衛生看護学）のうち、保健師国家試験受験資格取得のために開講される科目の単位は CAP の対象外となるため、上限単位を超えて履修登録することが出来ます。

また、2 年次生以降は前年度の GPA 値によって CAP の上限単位数が次の通り緩和または制限されます（GPA については「9.成績評価について」で詳述）。

前年度年間 GPA	CAP
GPA 値 3.0 以上の場合	CAP を 47 単位まで緩和
GPA 値 2.0 未満の場合	CAP を 43 単位に制限

6. 学修計画と履修登録・履修について

学修計画

高校の学習では基本的に全員が同じ時間割をこなすのに対し、大学の学修は自らの興味・関心や将来の進路の希望を踏まえて4年間の学習の目標を定め、カリキュラム（大学が学生のために用意した教育メニューのこと）のなかから、自分に適した時間割を作らなければなりません。

【学修計画を立てるときの主な材料・サポート】

- ・『履修の手引き』…大学における学習に関する必要事項についてまとめたもの（本誌）
- ・『シラバス』…各授業科目の内容（授業の目的、到達目標、授業内容・方法、授業計画、成績評価方法・基準等）を明らかにしたもの
- ・『授業時間割表』…当年度の開講授業科目および時間割を示すもの
- ・サポート…各学期当初のオリエンテーション時のガイダンス、アドバイザー教員等による指導・相談等

履修登録とは

履修登録とは、前期の始めに、各自が各学期に履修しようとする授業科目を選択し、登録する手続きのことです。シラバス、学生便覧、履修の手引き等を参考に、授業の履修計画を立てた上で、Web ポータルサイト等により登録を行います。

下記の各事項に留意しながら、前期と後期（後期は履修修正のみ）の始めの所定の期間に手続きしなければなりません。

1. 所定の期日に履修登録を完了しない者は、その学期の授業科目の履修および定期試験の受験は許可されません。やむを得ない理由により、所定の期日に履修登録を行えない場合は、あらかじめその旨を事務室（教務課）に届け出ておかなければなりません。
2. 所定の履修登録期間後の授業科目の変更・追加等は、原則として認められません。
3. 履修登録した授業科目以外の科目を受講することはできません。
4. 授業科目によってはクラスを指定する場合があります。指定されたクラスがある場合はその指定に従って履修しなければなりません。
5. 履修希望者が定員を超える場合、授業担当教員の判断により抽選などの方法により選別を行う場合があります。
6. 休学が認められた場合、休学期間中の履修登録はすべて取り消されます。

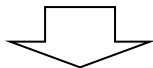
*看護学部生については、学年毎の必修科目はあらかじめ登録されています。その年度に履修を希望しない科目がある場合は、履修登録修正期間または履修取消期間に履修を取り消してください。

履修登録の流れ

前期

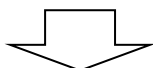
履修登録の検討

履修登録期間
4月上旬



履修登録確認

履修登録修正期間
4月中旬



履修登録確認

(履修取消期間)

○『履修の手引き』『シラバス』を熟読し、1年間の学修計画を立て、アドバイザー教員に相談しながら履修科目を検討

○本学 Web ポータルサイトより、前期・後期科目を登録
*「Web ポータルサイト利用の手引き」(別冊)に従って登録してください

○履修登録期間以降は、履修登録を行った授業に出席

○Web ポータルサイトにて履修登録内容の確認

○変更が認められない科目(必修科目)を除いて、この修正期間に登録の修正(追加、削除)が可能

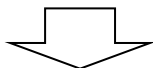
○履修登録修正期間以降は、履修登録を行った授業に出席
*登録を修正する場合、履修登録修正用紙を教務課へ提出する(アドバイザー教員の確認印が必要)

○修正期間に修正した内容を確認するため、Web ポータルサイトで登録内容の確認

*該当者のみ

後期

後期履修登録修正期間
9月中旬



履修登録確認

(履修取消期間)

○変更が認められない科目(必修科目)を除いて、この修正期間に登録の修正が可能

○履修登録修正期間以降は、履修登録を行った授業に出席
*登録を修正する場合、履修登録修正用紙を教務課へ提出する(アドバイザー教員の確認印が必要)

○修正期間に修正した内容を確認するため、Web ポータルサイトで登録内容の確認

*該当者のみ

*履修登録に関する期間の詳細は当該年度の「年間行事予定表」で確認してください。

登録のルール

1. 1年間の履修科目として登録できる単位数は、CAP 制により 45 単位を超えることができません。ただし、教職関連の資格科目および、専門科目(公衆衛生看護学)のうち保健師国家試験受験資格取得のために開講される科目は除きます。
2. 授業科目の配当年次について、各自が属する学年より下位の科目を履修することはさしつかえありませんが、各自が属する学年より上位の配当年次の科目を履修することはできません。
(例) ・配当年次が 1、2 年次の科目を 3 年次生が履修する場合→可
・配当年次が 3、4 年次の科目を 2 年次生が履修する場合→不可
3. 基礎ゼミナール、看護研究などクラスが指定されている場合は、指定クラス以外の授業を登録することはできません。

4. 履修者抽選の必要な科目にもかかわらず抽選に参加しなかった場合、当該年度の履修登録ができません。履修登録時には、抽選の結果通りに正しく登録してください。抽選後の変更はできません。
5. 授業科目によっては、「Bを履修するためにはAを履修すること」「Iを履修した後IIを履修すること」といった履修条件を課している場合があるので、シラバスでよく確認しておいてください。また、実習科目の履修の要件を設けている科目があります（p.26 参照）。こちらでもよく確認しておいてください。
6. 同一名称・同一科目コードの科目は、担当者等が異なっても重複して履修することはできません。授業コードの上のBから始まる2つのアルファベットと2桁の数字が科目コードです。
7. 過年度に単位を修得した同一名称の科目は、担当者等が異なっても再度履修登録することはできません。
8. 同一年度の同一曜日・時限に2科目以上を登録した場合、登録修正により二重登録状態を解消しなければ両科目とも登録が無効になります。
9. 登録許可の通知は行いません。不許可の科目のみ掲示等により連絡します。
（不許可の場合） ・ 履修登録のルールに違反している場合
・ 開講予定科目がやむを得ない理由で、不開講となる場合
10. 履修希望者が少数の場合は不開講となる場合があります。資格に関する科目についてはこの限りではありません。
11. 特定の科目に履修希望者が集中した場合、卒業年次生・上級年次生の優先、教室配当の調整、担当教員の手配などの措置の結果、次のことが生じる場合があります。
①担当教員の変更 ②曜日・時限の変更 ③希望科目の登録ができない
12. 別途、実習費、教材費が必要な科目で所定の期日までに納入がない場合は、その科目の履修登録は無効となり、履修登録は削除されます。
13. Web 登録時の操作ミス、提出期限の遅延などから生ずる不利益は本人の責任となります。
14. アドバイザー教員に相談しながら履修登録を検討してください。Web 登録後は、履修登録画面を印刷してアドバイザー教員に提出してください。
15. 原則、4年次で下級年次配当科目を履修することがないよう、卒業に必要な単位数を熟考の上、履修登録をしましょう。

履修登録内容の確認

Web ポータルサイトの「履修登録」メニューで、時間割表印刷画面に登録されている科目を確認してください。（「Web ポータルサイト利用の手引き」参照）

履修登録を修正する際のルール

1. 登録上限単位数を超えて履修している場合、科目の削除の手続きが必要です。
2. 指定クラスの変更はできません。
3. 履修登録修正期間後の修正には一切応じられません。
4. 履修登録修正用紙（教務課で配布）には、アドバイザー教員の確認印が必要です。早めにアドバイザー教員に相談し、余裕をもって手続きをしてください。

履修登録取消制度

履修登録取消制度は、履修登録完了後（履修登録修正期間後）次のような場合に履修登録した科目を取り消すことができる制度です。

- ① 授業の内容が自分の勉強したいものと違っていた。
- ② 授業に対する知識が不足していることに気付いた。
- ③ 履修科目数を減らしたい。

履修を取り消すためには、学部年間行事予定表（p.5～6）で定められた期間内に教務課にある所定の用紙を用いて取り消しの手続きを行ってください。

この期間内に手続きを行った科目は、履修登録制限単位（CAP）および GPA（GPA については後述）の算入対象とはなりません。

* 通年科目は前期履修取消申請期間中にのみ取り消すことができます。

教科書について

履修登録する授業の教科書は、必ず購入してください。

必修科目で指定されている教科書は、教科書の申込期間内に Web より注文し、自宅に配送（代金引換）されます。注文方法はオリエンテーション時に説明します。

選択必修科目や選択科目などの教科書は、履修登録期間中に学内販売日を設けて販売します。自分の選択した（指定された）授業の教科書を購入してください。

* 教科書の出版時期等により、履修登録期間に販売が間に合わない場合は、別途日を設けて販売します。

* 下級年次配当科目を再履修する学生は教科書を確認し、変更があれば購入してください（前年度と同じ教科書であれば購入する必要はありません）。

* 電子テキストは個人のシリアル番号等で管理されますので、無くさないようにしてください。

7. コース・選択強化プログラムについて

看護学部では、卒業時に看護師国家試験受験資格を得るために、大部分の科目が必修科目あるいは選択必修科目となります。履修すべき年次に、必ず単位を修得してください。不合格となった授業科目を、翌年度（以降）に履修する場合、時間割が選択科目と重複しても、優先して該当する必修科目の再履修をしてください。

さらに、保健師コースおよび養護教諭コースは、選抜に合格すれば選択可能です。しかし看護師の国家試験受験資格に必要な科目に加えてこれらの科目を履修し、科目の試験に合格し単位を修得することは、容易なことではありません。これらの資格取得に必要な科目を履修するにあたり、これらの資格が自分に向いているのか、本当にこれらの資格で将来働きたいのかをよく考えることが必要です。保健師コース、養護教諭コース、選択強化プログラムの履修に関しては、アドバイザー教員とよく相談してください。

看護師基本コース

看護師基本コースは、看護師国家試験受験資格取得に必要なコースです。ここでは、基礎科目群から 14 単位以上を（必修科目 12 単位、選択必修科目 2 単位）、専門基礎科目群から 30 単位以上を、専門科目群から 81 単位以上を、全ての科目群の選択科目から 3 単位以上を履修し、合計で 128 単位を修得します。

保健師コース

保健師コースは、看護師基本コースで必要な単位に加えて、保健師国家試験受験資格取得に必要な科目と単位を修得します。保健師コースは、2 年次前期終了時に一次選抜、後期終了時に二次選抜を行い、14 名程度の選抜を行います。選抜前の 1 年次の科目から保健師コースに必要な科目を設定しています。保健師コースを希望する者は、履修モデルをみながら、保健師コースの選択必修科目（p.25 参照）を必ず履修してください。なお、3 年次後期に領域別の臨地実習科目において 1 科目でも単位を修得できなかった場合は、保健師コースの履修継続が認められないため、十分に注意してください。

申請により衛生管理者一種免許や養護教諭二種免許の取得が可能です。養護教諭二種免許を希望する者は、保健師コースで提示されている科目のほかに、養護教諭二種免許の申請に必要な科目（日本国憲法、フィットネススポーツ、体育実技）を修得する必要があります。

* 衛生管理者一種免許…保健師免許取得後、事前に必要書類を整えて各都道府県労働局の安全衛生窓口（都道府県により名称は異なる）に本人が申請

* 養護教諭二種免許……保健師免許取得後、事前に必要書類を整えて各都道府県教育委員会に本人が申請
注）必要書類は各都道府県の HP に各免許取得方法について記載されている（代理申請不可）。

養護教諭コース

養護教諭一種免許の取得を希望する学生は、看護師基本コースで必要な単位に加えて、養護教

論一種免許取得に必要な科目と単位を修得します。養護教諭コースは、2年次後期中に一次選抜・二次選抜を行い、20名の選抜を行います。しかし、1年次の科目から教職関連科目など、養護教諭コースに必要な科目を設定していますので、希望者は、履修モデルをみながら不足のないように必ず履修してください。1年次の科目を2年次以降に履修することは極めて困難です。1年次の養護教諭コースに必要な科目の成績が選抜の際には重要になります。

選択強化プログラム

選択強化プログラムは、こどもと家族の看護、がん看護、認知症高齢者と家族の看護、地域・在宅療養者と家族の看護（JINKAN まちナースプロジェクト）の4つです。JINKAN まちナースプロジェクトは、1年次前期中に選抜を行い、2年次の前期に科目を履修しますが、1年次前期に履修が必要な科目があります。その他のプログラムは、3年次前期中に選抜を行い、4年次に科目を履修しますが、2年次の科目から履修が必要な科目があります。なお、原則として複数のプログラムを重複して履修することは出来ませんが、2年次に地域・在宅療養者と家族の看護（JINKAN まちナースプロジェクト）を履修した学生に限り、4年次に他のプログラムを履修することが可能です。

コース・プログラムの選抜方法等

各コース・プログラムの定員、選抜時期、選抜方法は以下の通りです。

コース・プログラム		選抜時期	定員	選抜方法
保健師コース		一次選抜：2年次前期終了時 二次選抜：2年次後期終了時	14名以内	GPA値、小論文、面接
養護教諭コース		一次選抜・二次選抜： 2年次後期中	20名以内	GPA値、小論文、面接
選択強化プログラム	地域・在宅療養者と家族の看護 (JINKAN まちナースプロジェクト)	1年次前期中	10名以内	小論文、面接
	こどもと家族の看護	3年次前期中	10名以内	GPA値、小論文、面接
	がん看護		10名以内	
	認知症高齢者と家族の看護		10名以内	

* 入学当初は全員「看護師基本コース」

コース・プログラム別必修科目

本学部の卒業に必要な最低単位数は128単位です。保健師コース、養護教諭コースおよび選択強化プログラムの単位数は、上記の単位に加え、それぞれの指定の科目を履修する必要があります。コース、プログラム毎の必修科目・選択科目は次頁の表の通りとなるので、自分がどの科目を履修すべきかを確認してください。また、合わせて、学生便覧にある「教育課程および履修方法に関する規程」を熟読して理解してください。

全コース・プログラム共通必修科目

科目区分		授業科目
基礎科目	専門学修の基礎	①人間環境学(2) ①基礎ゼミナール(2) ①医療キャリアの基礎(1)
	コミュニケーションの基礎	①英語リスニング(2) ①英会話(基礎)(2) ①コンピュータ基礎・情報処理法(1)
	人間と生活の理解	①社会福祉学(2)
専門基礎科目	人体の構造と機能	①からだの仕組みと生活(1) ①看護のための形態機能と疾病(4) ①微生物学(2) ①生化学(2)
	疾病の治療と回復促進	②形態機能学(2) ②栄養学(1) ②病理学(1) ②疾病・治療論Ⅰ(2) ②疾病・治療論Ⅱ(2) ②薬理学(2)
	健康と生活支援	①心理学(2) ①統計学(2) ②疫学(2) ③保健看護情報学(1)
専門科目	基礎看護学 基礎看護学・地域・在宅看護学	①看護学原論(2) ①生活援助技術(3) ②診療援助技術(3) ①看護コミュニケーション論(1)
	発達看護学 小児看護学・母性看護学	②看護過程(1) ④看護倫理(1) ②フィジカルアセスメント(2)
	成人・老年看護学 成人看護学・老年看護学	①地域・在宅看護学概論Ⅰ(1) ②地域・在宅看護学概論Ⅱ(1) ②地域・在宅看護援助論(2) ③地域・在宅看護演習(2)
	広域看護学 公衆衛生看護学・地域看護学・国際看護学・精神看護学	②小児看護学概論(1) ②小児看護援助論(2) ③小児看護演習(1) ②母性看護学概論(1)
統合看護		②母性看護援助論(2) ③母性看護演習(1) ②成人看護学概論(2) ②成人看護援助論(2) ③成人看護演習(4) ②老年看護学概論(1)
臨地実習		②老年看護援助論(2) ③老年看護演習(1) ②地域看護・公衆衛生看護学概論(2) ①国際看護学Ⅰ(2) ②精神保健看護学概論(1) ②精神看護援助論(2)
統合看護		③精神看護演習(1)
統合看護		②家族看護論(1) ④災害看護学(1) ④統合看護(2) ③研究方法論(2)
統合看護		③看護管理学(1) ④ICTと未来の医療(1) ③エンドオブライフケア看護学(1) ④看護研究(2)
臨地実習		①基礎看護学実習Ⅰ(1) ②基礎看護学実習Ⅱ(2) ③小児看護学実習(2) ③母性看護学実習(2)
臨地実習		③急性期看護学実習(3) ③慢性期看護学実習(3) ③老年看護学実習(3) ③精神看護学実習(2)
臨地実習		③地域・在宅看護学実習(3) ④統合実習(2)

○数字は学年、()は単位数

コース・プログラム別指定科目（必修科目・選択必修科目）

科目区分	看護師基本コース	選択強化プログラム			
		こどもと家族の看護	がん看護	認知症高齢者と家族の看護	地域・在宅療養者と家族の看護
基礎科目	①中国語(2)または	①中国語(2)または①ドイツ語(2)			
専門基礎科目	①ドイツ語(2)	①社会保障論(2)			
選択強化プログラム指定科目	(選択必修科目2単位)	②臨床心理学(1)	②臨床心理学(1)	②臨床心理学(1)	
	+	④こどもと家族の看護援助論(1)	④がん看護援助論(1)	④認知症高齢者と家族の看護援助論(1)	②地域・在宅療養者と家族の支援演習(1)
		④こどもと家族の看護学外演習(1)	④がん看護学外演習(1)	④認知症高齢者と家族の看護学外演習(1)	②地域・在宅療養者と家族の支援実習(2)
		④こどもと家族の看護演習(1)	④がん看護演習(1)	④認知症高齢者と家族の看護演習(1)	
		④ストレスマネジメント論(1)*	④ストレスマネジメント論(1)*		
資格科目	3単位				
必修科目との合計	128	129 (*を含んだ場合130)	129 (*を含んだ場合130)	129 (*を含んだ場合130)	130

*…履修推奨科目（必須ではないが選択強化プログラムを希望する場合、履修を推奨する科目）

コース・プログラム別指定科目（必修科目・選択必修科目）

科目区分	保健師コース	科目区分	養護教諭コース
基礎科目	①中国語(2)または①ドイツ語(2) ①社会保障論(2)	基礎科目	①中国語(2)または①ドイツ語(2) ①日本国憲法(2) ①フィットネスマスポーツ(1) ①体育実技(1) ①教育社会学(2) ①教育心理学(2)
専門科目	②公衆衛生看護援助論Ⅰ(2) ③公衆衛生看護援助論Ⅱ(2) ④公衆衛生看護学実習Ⅰ(4) ④公衆衛生看護学実習Ⅱ(1) ④個人・家族支援論(2) ④公衆衛生看護管理論(1) ④健康教育(2) ②成人保健・産業保健(2) ④地域診断論(2) ④保健医療福祉行政論Ⅱ(1) ②学校保健(2)	資格科目(教職関連科目)	①教職論(2) ①教育原理(2) ②道德の理論及び指導法(1) ②教育方法論(2) ②教育課程論(2) ②生徒指導論(2) ②特別支援教育論(2) ②特別活動論(総合的な学習の時間の指導法を含む)(2) ③教育相談(2) ②特別支援インターン(1) ④教職実践演習(養護教諭)(2) ④養護実習Ⅰ(1) ④養護実習Ⅱ(3)
		専門科目	②学校保健(2) ③養護概説(2) ③健康相談活動論(2)
必修科目との合計	148	必修科目との合計	163

※「合計」欄は必修科目との合計

8. 臨地実習について

実習の進行について

実習は、以下のように、1 年次から系統立てて行い、学内の講義や演習で学んだ専門知識や技術および体験を自ら活用し、臨床の場で実践し、知識と実践を統合させることを目的に行います。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次					↔ 基礎看護学実習Ⅰ(1 週間)							
2 年次		↔ 基礎看護学実習Ⅱ(1 週間)				↔ * 特別支援インターン(1 週間)					↔ 基礎看護学実習Ⅱ(1 週間)	
3 年次						↔ 小児(2 週間) 母性(2 週間) 精神(2 週間) 急性期(3 週間) 慢性期(3 週間) 老年(3 週間) 地域・在宅(3 週間)						
4 年次				↔ 統合実習(2 週間)								
		↔ * 公衆衛生看護学実習Ⅰ(4 週間)			↔ * 公衆衛生看護学実習Ⅱ(1 週間)							
		↔	↔	↔	↔ * 国際看護学実習(1 週間)							
			↔ * 養護実習(3 週間)									

* …選択科目（「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」は保健師コースのみ、「特別支援インターン」、「養護実習」は養護教諭コースのみ履修可能）

実習に関する履修要件

看護学部看護学科の臨地実習は、その実習の履修要件を満たした場合に限り履修できます。

看護学科の実習（必修科目）の履修要件は、以下のとおりとします。

実習科目	配当 年次	開講 期間	履修要件
基礎看護学実習Ⅰ	1	前期	「看護学原論」の失格者ではないこと
基礎看護学実習Ⅱ	2	通年	「基礎看護学実習Ⅰ」「生活援助技術」「看護コミュニケーション論」の単位を修得していること
小児看護学実習	3	後期	3 年次前期までに配当される専門基礎科目および専門科目の必修科目の単位をすべて修得していること
母性看護学実習	3	後期	
急性期看護学実習	3	後期	
慢性期看護学実習	3	後期	
老年看護学実習	3	後期	
精神看護学実習	3	後期	
地域・在宅看護学実習	3	後期	
統合実習	4	前期	3 年次後期までに配当される専門基礎科目および専門科目の必修科目の単位をすべて修得していること

失格者：定期試験受験資格のない者に準ずる

なお、選択科目、選択必修科目の実習については以下の通りです。

実習科目	配当 年次	開講 期間	履修要件
国際看護学海外研修	2	前期	「国際看護学Ⅰ」の単位を修得し、「国際看護学Ⅱ」を履修していること
国際看護学実習	4	前期	3 年次後期までに配当される専門基礎科目のうち必修科目の単位および「国際看護学Ⅰ」「国際看護学Ⅱ」の単位をすべて修得していること
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4	前期	3 年次後期までの臨地実習の単位および保健師コースの選択必修科目の単位をすべて修得していること
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	後期	
特別支援インターン	2	後期	養護教諭コースで定め別途提示する
養護実習Ⅰ	4	前期	
養護実習Ⅱ	4	前期	

9. 試験について

試験には、定期試験・追試験・再試験があります。また、試験に代わるものとしてレポートが課せられる場合もあります。

定期試験

定期試験は、前期、後期それぞれ看護学部年間行事予定表で定める定期試験期間に行われます。通常授業と教室が異なることがありますので、定期試験期間の約1週間前に掲示される、試験時間割には十分注意してください。

同一科目で複数クラスがある場合履修登録したクラスの試験を受験しなければなりません。

※集中講義科目や全8回で終了する科目等、一部定期試験期間外に試験を行う場合があります。

受験資格

次のいずれかに該当する者は受験資格がありません。

1. 欠席時数が授業時間数の5分の1を超える者（原則10分以上の遅刻は欠席とみなす）
2. 授業料等納付金を納付していない者
3. 履修登録をしていない者
4. 履修途中で受講を辞退した者

※試験受験後に上記事項に該当することが判明した場合、当該科目の成績は判定しません。

受験上の注意

学生証を持参していない場合は、受験できません。その他受験上の注意事項は『履修の手引き』の「試験について」の項および『学生便覧』の「試験内規」をよく読んで必ず確認しておいてください。

試験当日に学生証を忘れた者は試験前に事務室で仮学生証を発行してもらってください。

追試験

病気や忌引き、その他交通機関の不通など、以下に示すやむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者が、指定された期日までに「追試験願」を提出し、許可された場合に実施される試験です。

1. 暴風、大雨その他災害により受験することができなかった場合
2. 交通機関の不通、又は延着による場合
3. 傷病により受験できない場合
4. 忌引の場合
5. 公欠、又はそれに準じる場合

6. 特別の事情がある場合で、教授会で承認された場合

※医師の診断書、交通機関の延着証明など、その日時に受験が困難であった理由が分かる証明書類が必要です。

※追試験には所定の受験料が必要となります。追試験による成績は90点(S評価)を最高とします。

再試験

必修科目および選択必修科目で不合格となった科目は、原則再試験の対象科目となります。再試験の対象となった者が、指定された期日までに「再試験願」を提出し、許可された場合に補講等を行ったうえで再試験を受けることが出来る試験です。

※再試験には所定の受験料が必要となります。再試験による成績は60点(C評価)を最高とします。

不正行為

定期試験、レポートなどで不正行為を行った場合は、その該当する学期の単位が全て取り消されます。不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。試験に臨む時、レポートを作成する時は、不正行為を疑われるような紛らわしい態度を取らないようにしなければなりません。

<定期試験>

- ・カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
- ・解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の名前・学籍番号を記入するなど）をすること
- ・他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること
- ・許可されたもの以外を試験室に持ちこむこと
- ・解答用紙を試験室から持ち出すこと
- ・試験室において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- ・試験室において試験監督者等の指示に従わないこと

<レポート>

- ・他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いること（剽窃）
- ・他人の著作物から引用を不適切（引用箇所を明示しない、出典を記載しない）に行うこと
*著作権法に違反する行為となる場合があります
- ・自分が作成したレポートを他の人に見せ、それが他の人によって流用された場合（見せた者、流用した者の双方とも不正行為として取り扱われます）
- ・他人のレポートを代筆すること（代筆を依頼した者、代筆した者の双方とも不正行為として取り扱われます）
- ・指示がないにもかかわらず共同でレポートを作成し、そのレポートが酷似していた場合
- ・科目担当者の指示に意図的に従わずにレポートを作成すること

10. 成績評価について

成績評価基準

成績の評価は、定期試験、レポートなどによって授業科目ごとに行われます。成績評価基準は次の通りです。

評価点等	合否等	評語	GP	評価基準
100～90 点	合格	S	4.0	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
89～80 点		A	3.0	学習目標を相応に達成している (Very Good)
79～70 点		B	2.0	学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある (Good)
69～60 点		C	1.0	学習目標の最低限は満たしている (Pass)
60 点未満	不合格	D	0	学習目標の最低限を満たしていない (Failure)
試験欠席		E	0	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
欠席過多		F	0	出席不足等により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
認定	認定	N	—	本学以外で修得したもので本学が単位認定したもの (Credit given under Credit provision)

成績の発表

履修した授業科目の成績は、指定された期間に発表します。

成績は Web ポータルサイトの「成績確認」メニューで学生宛に通知します。前期の成績は、9月上旬、後期の成績と通年科目の成績は3月上旬に通知します。

成績に関する問い合わせ

成績評価について疑問がある場合は、所定の期間内に事務室（教務課）にある「成績疑義申出書」にて申し出ることができます。それ以降の質問は受け付けることができません。

GPA（Grade Point Average）制度

GPA (Grade Point Average) 制度は、成績評価に用いられた成績に対応した Grade Point (GP) を用い、履修した科目成績の平均値を出す成績評価のシステムであり、国際的に通用する基準です。この GPA 制度によって、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。また、GPA は卒業までの様々な選考の判断基準となるので、各自の GPA を常に意識し、学習計画を立ててください。

< GPA の算出方法 >

履修登録した科目ごとの 5 段階評価を、4 から 0 までの GP に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割って算出します。

$$GPA = \frac{(4.0 \times S \text{ の単位数}) + (3.0 \times A \text{ の単位数}) + (2.0 \times B \text{ の単位数}) + (1.0 \times C \text{ の単位})}{\text{履修登録単位数}}$$

(GPA の実際の計算例)

科目名	単位数(a)	評価点	評語	GP (b)	a×b
〇〇〇〇学	2	92	S	4.0	8
〇〇学概論ⅠA	2	85	A	3.0	6
〇〇学概論ⅡA	2	55	D	0	0
□□学援助論Ⅰ	2	70	B	2.0	4
□□学援助論Ⅱ	2	62	C	1.0	2
△△基礎実習	4	80	A	3.0	12
合計	14				32

上記成績の学生の場合、

履修登録した授業科目の単位数の合計 = 14

履修登録した授業科目の単位数×当該授業科目のGPの合計 = 32

$$GPA = \frac{32}{14} = 2.29$$

となります。

GPA の算定対象とならない科目

- ・資格科目（ただし学部が指定する一部の科目を除く）
- ・成績の評価点が認定となる科目（単位互換履修科目等）
- ・定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目
- ・その他、卒業要件に算入されない科目

Web ポータルサイト成績確認メニュー・成績証明書への記載内容

Web ポータルサイトの「成績確認」メニューに、履修科目全ての評価（S・A・B・C・D・E・F・N）および素点と GPA が記載されます。GPA は、学期毎の GPA と通算 GPA の両方が記載されます。成績証明書には、合格科目について評価のみが記載されます。

GPA による学生へのフォローアップ

1. 必修科目 1 科目以上不可および 1 つの学期の GPA が 2.0 未満となった学生は、本人を呼び出しアドバイザー教員や演習担当教員による注意と指導、保護者への通知を行います。また、連続して GPA が 1.0 未満となり、注意喚起後も改善が見られない場合は、学部長より退学勧告を視野にいたした指導が行われる場合があります。
2. 必修科目が未修得である特別学習支援が必要な学生には、アドバイザーとともに学習計画を作成し、既修の科目について講義に出席することを認めるサポートプログラムにより、フォローアップを行う場合があります。

第Ⅱ部

カリキュラム

基礎科目

(◎必修科目 ○選択科目 ●選択必修科目)

授業科目の名称	配 当 年 次	単 位	期 間	曜 日	時 限	2025担当教員（予定）	看護 師	保健 師	養 護 教 諭	選択強化プログラム				備 考
										こ と も	が ん	認 知 症	地 域 在 宅	
専門学修の基礎														
基礎ゼミナール ①	1	2	前期	水	1	西由紀・(沼倉聖子)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ②	1	2	前期	月	4	宮下大樹	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ③	1	2	前期	水	1	奥村茂夫・中河睦子	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ④	1	2	前期	月	4	笈侑子	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ⑤	1	2	前期	金	1	永井翔	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ⑥	1	2	前期	月	4	一ノ尾志保	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ⑦	1	2	前期	水	1	杉下史紘	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ⑧	1	2	前期	月	4	鳥居千洋	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ⑨	1	2	前期	金	1	榎本明子	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
基礎ゼミナール ⑩	1	2	前期	水	1	山田尚美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	*クラス指定
人間環境学	1	2	前期	水	2	工藤顕太	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
医療キャリアの基礎	1	1	前期	金	3	加藤由美他/(株)日本マナーサービス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
コミュニケーションの基礎														
英語リスニング	1	2	前期	木	3	正司孝太郎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
英会話(基礎)	1	2	後期	水	2	正司孝太郎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
英会話(医療英語)	2	2	前期	月	1	正司孝太郎	○	○	○	○	○	○	○	
英語リーディング	2	2	後期	月	2	正司孝太郎	○	○	○	○	○	○	○	
Collaborative Online International Learning	3	1	後期	集中		正司孝太郎	○	○	○	○	○	○	○	
中国語	1	2	後期	火	2	渡昌弘	●	●	●	●	●	●	●	※「中国語」「ドイツ語」 のいずれか選択必修
ドイツ語	1	2	後期	火	2	森永駿(予定)	●	●	●	●	●	●	●	
コンピュータ基礎・情報処理法	1	1	前期	火	3	永井・坂・杉下史・鳥居	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
人間と生活の理解														
日本国憲法	1	2	前期	木	4・5	馬場陽	○	○	●	○	○	○	○	
人間関係論	1	2	後期	木	5	秋田悠希	○	○	○	○	○	○	○	
教育心理学	1	2	前期	金	2	宮田延実	○	○	●	○	○	○	○	
フィットネススポーツ	1	1	前期	月	1・2	押村果奈	○	○	●	○	○	○	○	
体育実技	1	1	後期	月	1・2	押村果奈	○	○	●	○	○	○	○	
家族社会学	1	2	後期	-	-	(不開講)	○	○	○	○	○	○	○	2025年度は不開講
生命倫理学	1	2	前期	火	4	伊藤千晴	○	○	○	○	○	○	○	
社会福祉学	1	2	後期	木	2	塚本鋭裕	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
国際文化論	1	1	後期	木	1	菅原太	○	○	○	○	○	○	○	隔年開講(2025年度は開講)
教育社会学	1	2	後期	水	1	片山悠樹	○	○	●	○	○	○	○	
社会保障論	1	2	前期	木	2	塚本鋭裕	○	●	○	○	○	○	●	
哲学	1	2	後期	火	1	森永駿(予定)	○	○	○	○	○	○	○	
経営学	1	2	後期	金	2	磯貝明	○	○	○	○	○	○	○	
美術に見る自然環境と日本	1	2	前期	火	1	菅原太	○	○	○	○	○	○	○	
美術に見る近世日本の人間像	1	2	後期	水	1	菅原太	○	○	○	○	○	○	○	
万葉時代の生	1	2	前期	木	5	花井しおり	○	○	○	○	○	○	○	
万葉集と恋	1	2	後期	木	5	花井しおり	○	○	○	○	○	○	○	

資格科目

授業科目の名称	配 当 年 次	単 位	期 間	曜 日	時 限	2025担当教員（予定）	看 護 師	保 健 師	養 護 教 諭	選択強化プログラム				備 考
										こ ど も	が ん	認 知 症	地 域 在 宅	
教職関連科目														
教職論	1	2	後期	金	2	宮田延実	○	○	●	○	○	○	○	
教育原理	1	2	前期	木	1	折出健二	○	○	●	○	○	○	○	
教育方法論	2	2	後期	月	2	澤田好江	○	○	●	○	○	○	○	
教育課程論	2	2	前期	金	4	宮田延実	○	○	●	○	○	○	○	
道徳の理論及び指導法	2	1	後期	木	1	山口匡			●					
特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む）	2	2	後期	木	4	宮田延実/松原紀子			●					
特別支援教育論	2	2	後期	木	3	杉山佳菜子			●					
生徒指導論	2	2	後期	木	2	折出健二	○	○	●	○	○	○	○	
特別支援インターン	2	1	後期	集中		宮田延実			●					
教育相談	3	2	前期	月	4	宮田延実	○	○	●	○	○	○	○	
養護実習Ⅰ	4	1	前期	集中		松原紀子			●					
養護実習Ⅱ	4	3	前期	集中		松原紀子			●					
教職実践演習（養護教諭）	4	2	後期	集中		松原紀子			●					

専門基礎科目

授業科目の名称	配 当 年 次	単 位	期 間	曜 日	時 限	2025担当教員（予定）	看護 師	保健 師	養 護 教 諭	選択強化プログラム				備考
										こ と も	が ん	認 知 症	地 域 在 宅	
人体の構造と機能														
からだの仕組みと生活	1	1	前期	水	3	西由紀/原好恵	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
看護のための形態機能と疾病	1	4	後期	月	4・5	西由紀/原好恵	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
形態機能学	2	2	前期	月	3	西由紀	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
微生物学	1	2	後期	金	4	三木研作	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
生化学	1	2	前期	金	4	三木研作	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
栄養学	2	1	前期	水	2	福田知里	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
疾病の治療と回復促進														
病理学	2	1	前期	金	3	三木研作	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
疾病・治療論Ⅰ	2	2	前期	水	4	三木研作	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
疾病・治療論Ⅱ	2	2	後期	金	3	三木研作	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
薬理学	2	2	後期	水	4	滝本典夫、近藤洋一、菅原さやか	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
健康と生活支援														
心理学	1	2	前期	月	3	正司孝太郎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
統計学	1	2	後期	金	3	正司孝太郎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
疫学	2	2	後期	金	2	城憲秀	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
保健看護情報学	3	1	前期	金	1	加藤由美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
公衆衛生学	1	1	後期	月	3	加藤まり/(沼倉聖子)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
保健医療福祉行政論Ⅰ	3	2	前期	月	3	加藤由美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
臨床心理学	2	1	後期	土	1・2	来多泰明	○	○	○	●	●	●	○	
カウンセリング	3	2	前期	木	5	秋田悠希	○	○	○	○	○	○	○	
多職種連携と協働	4	1	後期	水	3・4	坂亮輔/鳥居千洋/杉下史紘	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
人権擁護と成年後見制度	3	1	前期	土	3・4	塚本鋭裕	○	○	○	○	○	(●)	○	

専門科目

授業科目の名称		配当年次	単位	期間	曜日	時限	2025担当教員（予定）	看護師	保健師	養護教諭	選択強化プログラム				備考
											こども	が	認知症	地域在宅	
基礎看護学															
基礎看護学	看護学原論	1	2	前期	火	2	篠崎恵美子/伊藤千晴	○	○	○	○	○	○	○	週3コマ
	生活援助技術	1	3	後期	火	4 3・4	服部・栗田・榎本・山口・原	○	○	○	○	○	○	○	
	診療援助技術	2	3	前期	木	－	原・栗田・榎本・山口・服部	○	○	○	○	○	○	○	
	看護コミュニケーション論	1	1	後期	火	3	栗田・篠崎(服部・山口・原・榎本・伊藤)	○	○	○	○	○	○	○	
	看護過程	2	1	後期	火	2	山口貴子	○	○	○	○	○	○	○	
	看護倫理	4	1	後期	金	2	伊藤千晴	○	○	○	○	○	○	○	
	フィジカルアセスメント	2	2	前期	火	3・4	山口・栗田・榎本(服部・原)	○	○	○	○	○	○	○	
地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論Ⅰ	1	1	後期	月	3	佐々木詩子/奥村茂夫/為永義憲	○	○	○	○	○	○	○	
	地域・在宅看護学概論Ⅱ	2	1	前期	月	4	佐々木詩子/奥村茂夫/為永義憲	○	○	○	○	○	○	○	
	地域・在宅看護援助論	2	2	後期	火	3	奥村茂夫/佐々木詩子/為永義憲	○	○	○	○	○	○	○	
	地域・在宅看護演習	3	2	前期	火	3・4	為永義憲/佐々木詩子/奥村茂夫	○	○	○	○	○	○	○	
	地域・在宅療養者と家族の支援演習	2	1	前期	集中		佐々木詩子・奥村茂夫・為永義憲							●	
	地域・在宅療養者と家族の支援実習	2	2	前期	集中		佐々木詩子・奥村茂夫・為永義憲							●	
発達看護学															
小児看護学	小児看護学概論	2	1	前期	月	2	杉浦太一	○	○	○	○	○	○	○	
	小児看護援助論	2	2	後期	水	2	杉浦太一/一ノ尾志保/中河睦子	○	○	○	○	○	○	○	
	小児看護演習	3	1	前期	火	1・2	杉浦太一/中河睦子/一ノ尾志保	○	○	○	○	○	○	○	
	こどもと家族の看護援助論	4	1	前期	－	－	杉浦太一/中河睦子				●				
	こどもと家族の看護学外演習	4	1	前期	－	－	杉浦太一/中河睦子				●				
	こどもと家族の看護演習	4	1	後期	－	－	杉浦太一/中河睦子				●				
母性看護学	母性看護学概論	2	1	前期	火	5	杉下佳文	○	○	○	○	○	○	○	
	母性看護援助論	2	2	後期	金	4	星貴江/鍋田美咲	○	○	○	○	○	○	○	
	母性看護演習	3	1	前期	金	3・4	寛/一ノ尾/山田/鍋田/星	○	○	○	○	○	○	○	
成人・老年看護学															
成人看護学	成人看護学概論	2	2	前期	火	2	中神友子/天野薫/坂亮輔	○	○	○	○	○	○	○	
	成人看護援助論	2	2	後期	水	3	杉下史/天野/中神/坂/鳥居	○	○	○	○	○	○	○	
	成人看護演習	3	4	前期	月	1・2 3・4	鳥居/天野/中神/坂/杉下史 鳥居/天野/中神/坂/杉下史	○	○	○	○	○	○	○	
	がん看護援助論	4	1	前期	集中		天野/坂/杉下史/鳥居					●			
	がん看護学外演習	4	1	前期	集中		天野・坂・杉下史・鳥居					●			
	がん看護演習	4	1	後期	集中		天野/杉下史/鳥居/坂					●			
老年看護学	老年看護学概論	2	1	前期	月	2	山根友絵	○	○	○	○	○	○	○	
	老年看護援助論	2	2	後期	月	3	山根友絵/渡邊美幸/宮下大樹	○	○	○	○	○	○	○	
	老年看護演習	3	1	前期	水	1・2	渡邊美幸・宮下大樹・山根友絵	○	○	○	○	○	○	○	
	認知症高齢者と家族の看護援助論	4	1	前期	－	－	山根友絵・渡邊美幸・宮下大樹						●		
	認知症高齢者と家族の看護学外演習	4	1	前期	－	－	山根友絵・渡邊美幸・宮下大樹						●		
	認知症高齢者と家族の看護演習	4	1	前期	－	－	山根友絵・渡邊美幸・宮下大樹						●		
公衆衛生看護学	地域看護・公衆衛生看護学概論	2	2	前期	金	2	加藤まり/(沼倉聖子)	○	○	○	○	○	○	○	
	公衆衛生看護援助論Ⅰ	2	2	後期	木	3・4	加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	公衆衛生看護援助論Ⅱ	3	2	前期	月	4	加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	個人・家族支援論	4	2	前期	集中		加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	公衆衛生看護管理論	4	1	後期	木	1	加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	健康教育	4	2	前期	集中		加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	成人保健・産業保健	2	2	後期	月	1・2	加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	地域診断論	4	2	前期	集中		加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4	1	後期	火	3	加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	学校保健	2	2	後期	月	4	松原紀子	○	●	●	○	○	○	○	
地域看護学	養護概説	3	2	前期	月	5	松原紀子	○	○	●	○	○	○	○	
	健康相談活動論	3	2	前期	火	5	松原紀子	○	○	●	○	○	○	○	

授業科目の名称		配 当 年 次	単 位	期 間	曜 日	時 限	2025担当教員（予定）	看 護 師	保 健 師	養 護 教 諭	選択強化プログラム				備 考
											こ ど も	が ん	認 知 症	地 域 在 宅	
国際看護学	国際看護学Ⅰ	1	2	後期	水	3	正司孝太郎・山田尚美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	国際看護学Ⅱ	2	2	前期	火	1	山田尚美・正司孝太郎	○	○	○	○	○	○	○	
	国際看護学海外研修	2	1	前期	集中		正司孝太郎・山田尚美	○	○	○	○	○	○	○	
精神看護学	精神保健看護学概論	2	1	前期	水	3	鈴木善博/永井翔	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	精神看護援助論	2	2	後期	火	1	鈴木善博/永井翔	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	精神看護演習	3	1	前期	木	2	鈴木善博/永井翔	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
統合看護															
	家族看護論	2	1	後期	金	5	杉下佳・加藤ま・山根・杉浦・中神・鈴木	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護教育論	4	1	後期	金	3	篠崎恵美子	○	○	○	○	○	○	○	
	災害看護学	4	1	後期	火	1・2	中神友子	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	統合看護	4	2	後期	水	1・2	西/服部/為永/星/杉浦/中神/天野/山根	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	ストレスマネジメント論	4	1	後期	木	2	鈴木善博・永井翔	○	○	○	●	●	○	○	
	研究方法論	3	2	前期	金	2	服部美穂	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護管理学	3	1	前期	水	3	加藤由美	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	ICTと未来の医療	4	1	前期	火	1・2	杉下史紘	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	エンドオブライフケア看護学	3	1	前期	木	1	天野薫/杉下史紘/奥村茂夫	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	看護研究	4	2	通年	-	-	篠崎恵美子 他	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
臨地実習															
	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	前期	集中		栗田・服部・山口・原・榎本・伊藤・篠崎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	基礎看護学実習Ⅱ	2	2	通年	6月・2月頃		原・山口・服部・栗田・榎本・伊藤・篠崎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	小児看護学実習	3	2	後期	集中		中河睦子・一ノ尾志保・杉浦太一	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	母性看護学実習	3	2	後期	集中		鍋田・星・寛・一ノ尾・山田・杉下(佳)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	急性期看護学実習	3	3	後期	集中		坂・中神・天野・杉下史・鳥居	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	慢性期看護学実習	3	3	後期	集中		天野・杉下史・坂・中神・鳥居	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	老年看護学実習	3	3	後期	集中		山根友絵・渡邊美幸・宮下大樹	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	精神看護学実習	3	2	後期	集中		鈴木善博・永井翔	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	国際看護学実習	4	1	前期	集中		山田尚美	○	○	○	○	○	○	○	
	地域・在宅看護学実習	3	3	後期	集中		佐々木詩子・奥村茂夫・為永義憲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4	4	前期	集中		加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	1	後期	集中		加藤まり/小島修子/(沼倉聖子)		●						
	統合実習	4	2	前期	集中		加藤由美 他	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

看護学部履修モデル

看護師基本コース									
* 選択必修科目2単位、任意選択科目3単位を含む									
学年		専門科目			専門基礎科目			基礎科目	
		必修科目	臨地実習（必修）		必修科目	選択科目		必修科目・選択必修科目	選択科目
1年次	前期	看護学原論 2	基礎看護学実習Ⅰ 1		からだの仕組みと生活 1 心理学 2 生化学 2			基礎ゼミナール 2 人間環境学 2 医療キャリアの基礎 1 英語リスニング 2 コンピュータ基礎・情報処理法 1	生命倫理学 2
	後期	生活援助技術 3 看護コミュニケーション論 1 地域・在宅看護学概論Ⅰ 1 国際看護学Ⅰ 2			看護のための形態機能と疾病 4 微生物学 2 統計学 2 公衆衛生学 1			英会話（基礎） 2 社会福祉学 2 ドイツ語*/中国語* 2 *選択必修	
2年次	前期	診療援助技術 3 フィジカルアセスメント 2 地域・在宅看護学概論Ⅱ 1 小児看護学概論 1 母性看護学概論 1 成人看護学概論 2 老年看護学概論 1 地域看護・公衆衛生看護学概論 2 精神保健看護学概論 1	基礎看護学実習Ⅱ（通年） 2		栄養学 1 病理学 1 疾病・治療論Ⅰ 2 形態機能学 2				
	後期	地域・在宅看護援助論 2 小児看護援助論 2 母性看護援助論 2 成人看護援助論 2 老年看護援助論 2 精神看護援助論 2 家族看護論 1 看護過程 1	基礎看護学実習Ⅱ（通年）		疾病・治療論Ⅱ 2 薬理学 2 疫学 2				
3年次	前期	地域・在宅看護演習 2 小児看護演習 1 母性看護演習 1 成人看護演習 4 老年看護演習 1 精神看護演習 1 研究方法論 2 看護管理学 1 エンドオブライフケア看護学 1			保健看護情報学 1 保健医療福祉行政論Ⅰ 2	カウンセリング 2			
	後期		小児看護学実習 2 母性看護学実習 2 急性期看護学実習 3 慢性期看護学実習 3 老年看護学実習 3 精神看護学実習 2 地域・在宅看護学実習 3						
4年次	前期	ICTと未来の医療 1 看護研究（通年） 2	統合実習 2						
	後期	看護倫理 1 災害看護学 1 統合看護 2 看護研究（通年）			多職種連携と協働 1				
		58	23		30	2		14	2

		保健師コース・養護教諭コース		選択教科プログラム			
学年		保健師コース 必修科目	養護教諭コース 必修科目	こどもと家族の看護 必修科目	がん看護必修科目	認知症高齢者と家族の看護 必修科目	地域・在宅療養者と家族 の看護必修科目
1年次	前期	社会保障論 2	日本国憲法 2 教育心理学 2 フィットネススポーツ 1 教育原理 2				社会保障論 2
	後期		体育実技 1 教育社会学 2 教職論 2				
2年次	前期		教育課程論 2				地域・在宅療養者と家族の支援演習 1 ＜臨地実習＞ 地域・在宅療養者と家族の支援実習 2
	後期	公衆衛生看護援助論Ⅰ 2 成人保健・産業保健 2 学校保健 2	生徒指導論 2 学校保健 2 教育方法論 2 道徳の理論及び指導法 1 特別活動論 2 特別支援教育論 2 ＜臨地実習＞ 特別支援インターン 1	臨床心理学 1	臨床心理学 1	臨床心理学 1	
3年次	前期	公衆衛生看護援助論Ⅱ 2	教育相談 2 養護概説 2 健康相談活動論 2			(人権擁護と成年後見制度) (1)	
	後期						
4年次	前期	個人・家族支援論 2 健康教育 2 地域診断論 2 ＜臨地実習＞ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 4	＜臨地実習＞ 養護実習Ⅰ 1 養護実習Ⅱ 3	子ども家族の看護援助論 1 子ども家族の看護学外演習 1	がん看護援助論 1 がん看護学外演習 1	認知症高齢者と家族の看護援助論 1 認知症高齢者と家族の看護学外演習 1 認知症高齢者と家族の看護演習 1	
	後期	公衆衛生看護管理論 1 保健医療福祉行政論Ⅱ 1 ＜臨地実習＞ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 1	教職実践演習（養護教諭） 2	子ども家族の看護演習 （ストレスマネジメント論） (1)	がん看護演習 （ストレスマネジメント論） (1)		
		23	38	4	4	4	5

*（ ）…履修推奨科目

s t u d y

G u i d e

2 0 2 5